



食品混入異物における「プライマリーキット」開発

食の安全が高まる中、食品混入異物、特に動物毛などの異物をDNAレベルで判定できる。

本業の動向について

理化学機器製造及び生化学受託事業を主要業とする。外資系企業参入や技術サイクルの短縮化により売上単価が下がっており競争が非常に激しい。

公設研究機関との連携事業について

連携先公設研究機関の名称

あいち産業科学技術総合センター
食品工業技術センター

(旧名称)

愛知県産業技術研究所
食品工業技術センター

所在地

愛知県名古屋市西区新福寺町2丁目1番の1

連携内容

動物の識別用プライマーセットの事業化

連携した動機やきっかけ

愛知県産業技術研究所食品工業技術センターよりお話をいただいた。

連携の効果

弊社のラインナップの1つとして訴求効果のある製品を生みだせたこと。

連携して最も効果のあったこと

弊社と今まで取引がなかったお客様から、受注できたこと。

連携して最も困難だったこと

弊社のような規模が小さな会社だと、法務部が無いため契約に際しての法務知識が薄いこと。

連携するメリット・デメリットについて

メリットとしては、お客様への訴求効果が大きいこと。(技術的な裏打ち等)デメリットとしては、現在のところない。

連携に際しての注意、アドバイスなど

弊社にも言えることですが、どんどん活用すると良いと思います。

公設研究機関との連携で行政に望む支援

事業化させるまでの経費を補助する等の支援をして欲しいと思います。

会社概要

設 立:1990年(平成2年)

資 本 金:2,000万円

従業員数:20名

U R L : <http://www.bexnet.co.jp/>